

山鹿市民医療センター開放型病院広報紙

11月号

Yamaga Medical Center



発行所 山鹿市民医療センター 〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地 TEL 0968-44-2185(代) FAX 0968-44-2420

第24回公開薬剤師研修会を開催しました

コロナ禍で中断していた上記を、さる10月6日金曜日、山鹿市民医療センター医療研修センターにおいて、3年半ぶりに開催しました。今回は当センター松田薬剤師を座長に、佐賀の神埼薬局から千代延誠治先生を講師にお迎えし「ACPって行ったことありますか？～みんなで考えるACP～」との演題で講演いただきました。

先生は製薬企業で経験を積まれたのち佐賀の地で開局され、早くから地域医療、中でも在宅緩和医療に熱心に取り組まれており、山鹿の地で先生にご講演いただくのは2度目です。



先生はまず、「100%と聞いて何を連想するか？」との問いかけから講演を始められました。会場には保険薬局薬剤師および病院薬剤師が参加していましたが、みんな不思議そうな表情を浮かべていました。『お笑い芸人の芸名などを想像する人もいるかもしれないが、今回の意味は「人は100%死亡する」ということ』でした。

また「あなたは亡くなる時、何で亡くなりたいですか？」の問いが続き、会場はピンコロ(ピンピンコロリ≡心筋梗塞等)が圧倒的多数を占め、「ど

こで旅経ちたいですか？」の問いには殆どが在宅看取りを希望していました。なお先生は「癌で亡くなること」は自身の身辺整理を行う時間が確保出来る場合が多く、じっくりと向き合うことが出来るという面ではなかなか興味深いと話され、自身が尊厳を持って100%の確率で訪れる「死」に向き合うために、ACPを行うことを推奨されていました。



「ACP」とは「人生会議」として表現されることが多く、自分がどのようにこれからの人生を歩み、また終わりたいかを家族・友人・知人と共有するためのツールです。この概念は現在非常によく話題となっており、山鹿では行政と医療センター緩和ケアチームが協働して「メモリアルノート」を作成し発行しており、当院緩和ケア外来に通院される方に「好きなところから好きなように、何度か書き直しても可」と説明し配付、ACP普及の一助を担っています。いつかは必ず訪れる「自身や大切な方の死」について、じっくり考える良い機会となりました。

(文責：副薬剤科長 柴田 佳代)

基本理念

いのち

地域住民の生命と健康への貢献

基本方針

山鹿市民医療センターは

- ① 患者さま中心の信頼される医療を行います
- ② 診療機能の充実に努め、質の高い医療を提供します
- ③ 地域の保健、医療、福祉の連携を推進します
- ④ 研修、研鑽に努め医療レベルの向上を図ります
- ⑤ 健全経営に努めます

CONTENTS

第24回公開薬剤師研修会を開催しました… P 1

リソースナース(認定看護師)紹介…………… P 2

部門紹介 臨床検査科…………… P 2

医療最前線(152)/第75回公開講演会のご案内… P 3

外来担当医表(11月)…………… P 4

## リソースナーズの会

♪看護部委員会として活動開始しました♪

### リソースナースとは？

ある特定の看護分野において、必要な研修を通し、熟練した看護技術と知識、資格を取得し、院内外において看護職員や他の医療従事者に啓発活動を行うとともに、患者さまに直接ケアを提供することを通して看護ケアの質保証に貢献することを役割としている看護師です。

今後は、山鹿地域における医療機関・訪問看護ステーションの看護の質向上・連携強化に向けて地域の医療・福祉に関わる看護スタッフが最新の技術・知識を身につけられるよう、「リソースナーズの会」メンバーが地域の医療機関の要請に応じて研修講師等として活動したいと考えています。

⑤松本：認定看護管理者、がん性疼痛看護

#### ①廣瀬：感染管理

患者さんとその家族、医療従事者など病院を利用する全ての人々を感染症から費用対効果の高い方法で守ることを目的として活動しています。院内外を問わず研修会、ラウンド、サーベイランス、コンサルテーションなど行っています。

#### ②城：創傷管理関連特定行為

褥瘡(床ずれ)・治りにくい傷・人工肛門・膀胱周囲の皮膚トラブル・胃瘻や腎瘻管理などあらゆるスキントラブルに対応します。院内で活動していますが、院外からも皮膚トラブルの処置方法や胃瘻・腎瘻・膀胱瘻の管理方法などご相談を承ります。

### メンバー



#### ③久米：救急看護

救急看護の実践を中心に、1次救命処置や2次救命処置のシミュレーション研修を企画していきます。また、急変対応時の事後検討などを通し、救急看護の質の向上を図っていききたいと思います。

#### ④塚本：がん性疼痛看護

がん患者さんに伴う痛みのアセスメントを行い、鎮痛剤を考慮し、精神的・社会的苦痛とともに緩和ができ、“その方らしく”過ごせるようにサポートを行います。

がんや医療用麻薬などについての研修会を院内外で実施していききたいと思います。

## 臨床検査科紹介

当センター臨床検査科はスタッフ10名にて検体データの共有化や患者様の状態把握などをスムーズに行えるよう、ゆとりあるワンフロアの中に生化学・免疫学・血液・凝固・輸血検査・細菌検査と隣接するフロアに生理機能検査・一般検査を配置し検査をおこなっています。

検体検査部門では通常の検体測定のほか輸血検査や血液製剤の管理も行っています。使用する全ての検査機器の精度管理を実施し日本臨床検査技師会(JAMT)日本臨床検査標準協議会(JCCLS)より認められている精度(品質)保証施設認証制度やメーカーサーベイ等、外部精度管理へも積極的に参加し各機器の精度を保っています。

生理検査部門では心電図(ホルター・トレッドミル)、肺機能、ABI、聴力・語音検査、神経伝導速度、SAS、超音波検査(腹部・心臓・乳腺・甲状腺・頸動脈・下肢血管)など様々な検査に対応しています。またソナゾイド造影超音波検査ではFusion機能を用い、肝臓腫瘍の検出、質的診断、RFA・MCT時の治療ガイドとしても参加しています。

チーム医療にも積極的に参加し、糖尿病対策チーム・感染対策委員会などにおいて他職種と連携し、患者さまのための医療に努めています。

個々が技術の向上に励み様々な資格取得にも力を入れています。また、信頼できる臨床検査を迅速に対応でき

るよう365日24時間スタッフ一同努めています。

#### 資格取得状況

- ・日本超音波医学会認定超音波検査士(心臓)
- ・日本超音波医学会認定超音波検査士(腹部)
- ・日本超音波医学会認定超音波検査士(体表)
- ・日本超音波医学会認定超音波検査士(泌尿器)
- ・日本糖尿病療養指導士
- ・緊急臨床検査士
- ・日本臨床細胞学会認定細胞検査士
- ・国際細胞検査士
- ・精度管理責任者育成講習会修了
- ・臨地実習指導者

(文責：臨床検査技師長 野中 裕直)



## 医療最前線 (152)



### 鼠経ヘルニアの国際ガイドラインとLichtenstein法について

外科医師

辛島 龍一

外科手術は疾患ごとに標準術式が定められていることが殆どですが、こと鼠経ヘルニアに関しては標準術式が定められてきませんでした。同じ鼠経ヘルニアという病気を治療するために実に様々な術式が考案され、各施設や術者それぞれの考えのもとで手術が行われてきたのです。

本邦では2015年に初めて鼠経ヘルニアのガイドラインが策定されましたが、術式については「みんな違って、みんないい」という評価にとどまり、慣れている方法で好きにどうぞという内容でした。

しかし、とうとう2018年に発表された国際ガイドラインにおいて推奨される術式はLichtenstein（リヒテンシュタイン）法・TAPP法・TEP法の3つに絞られてしまいました。

当時の日本ヘルニア学会総会の会場ではたいへんインパクトのある出来事として議論されたのが記憶に新しいところです。どういうことかということ、まず腹腔鏡手術であるTAPP法とTEP法は日本でも導入する施設がどんどん増えて現在では全体の半数超

の手術が腹腔鏡で行われるほど一般化しており、大きな問題はありません。問題は、鼠径部を切開する従来からの手術がLichtenstein法ひとつに絞られてしまったことです。

米国西海岸の外科医Lichtenstein先生が1970年代に考案して1980年代に完成させたこの術式は、海外ではメッシュを使った標準的な術式として広く浸透しています。一方、日本ではほとんどの外科医がLichtenstein法をまだ知らなかった1995年にBARD社が発売・宣伝したメッシュプラグ法が爆発的に広まりました。その後はPHS法やDirect-Kugel法など新しいメッシュが開発されるたびに一部の施設が取り入れる一方で、Lichtenstein法をやる施設はほとんど無いという状況が続いてきました。つまり、日本でみんながやったことのない術式を急に国際ガイドラインで推奨されても困るということです。これについては日本の次版ガイドラインがどうなるのか注目しています。

私自身は2016年にLichtenstein法を取り入れ、心機能や肺機能が不良な方には局所麻酔下での手術も行います。腹腔鏡手術のTAPP法・TEP法とあわせて3術式いずれかのうち最適と思われる方法を患者さんの状態にあわせてお勧めする、国際ガイドラインに準拠した治療を行っています。

## 第75回公開講演会のご案内

(日本医師会生涯教育講座 1 単位)

取得カリキュラムコード 番号・コード名  
77. 骨粗鬆症

下記により第75回公開講演会を開催いたします。  
多数ご参加くださいますよう御案内申し上げます。

鹿本医師会会長 幸村 克典  
山鹿市病院事業管理者 別府 透

記

**日時**：令和5年11月10日（金）19：00～  
**形式**：ハイブリッド方式(オンライン参加or会場参加)  
**会場**：オンライン参加 / Zoomミーティング  
会場参加 / 山鹿市民医療センター1階医療研修センター  
**演題**：「ロコモを知ろう～骨折リハビリサービスについても～」  
**司会**：山鹿市民医療センター 副院長 工藤 智志 先生  
**演者**：山鹿市民医療センター  
整形外科 山元 雅典 先生

参加費：無料

【参加要領】 下記参加URL、又は参加QRコードからご参加ください。

(参加URL)：https://zoom.us/j/94196556746

(参加QRコード) ⇒

ミーティング ID：941 9655 6746  
パスコード：576287



※ミーティングに参加される際の【名前】欄には、必ず「氏名」と「医療機関名」をご入力ください。

※快適にご視聴いただくため、イヤホンやヘッドセットのご使用をお勧めいたします。

お問合わせ先 📍 山鹿市民医療センター

地域医療連携室 深水、西田

TEL:0968-44-2185 FAX:0968-44-0071

※共催：鹿本医師会

山鹿市民医療センター医療研修センター運営委員会

# 外来担当医表

11月

診療科名	月	火	水	木	金
呼吸器内科	※後藤 由比古	※濱田 昌平	※後藤 英介	—	※後藤 英介
腫瘍内科	—	—	—	—	宮本 英明
消化器内科	上野 茂紀	竹野 洋司	本原 利彦	上野 茂紀 竹野 洋司	本原 利彦
内分泌・代謝内科	川崎 修二	—	川崎 修二	—	川崎 修二
循環器内科	大庭 圭介 清水 博	大庭 圭介 清水 博	清水 博 大庭 圭介	※小國 哲也 担当医	大庭 圭介 清水 博
整形外科 (紹介外来制)	横田 秀峰 中原 達秀 山元 雅典	工藤 智志 中原 達秀 山元雅典 / 湯本みずほ	手術 (担当医)	工藤 智志 横田 秀峰 湯本 みずほ	手術 (担当医)
外科	別府 透 石河 隆敏 織田 枝里	手術 (担当医)	別府 透 石河 隆敏 辛島龍一 / 織田枝里	手術 (担当医)	別府 透 石河 隆敏 尾崎 宣之
乳腺外科	—	※富口 麻衣 (完全予約制)	—	—	—
泌尿器科	—	※原田 成美	—	※神波 大己 教授	—
小児科	※石井 真美 9:00~16:30まで	※徳永 郁香 (小児一般・ アレルギー外来)	※石井 真美 9:00~16:30まで 予防接種(午後)	※石井 真美 9:00~16:30まで	※徳永 郁香 (小児一般・ アレルギー外来)
セ ン タ ー 器 器	耳鼻咽喉科	—	非常勤医師	—	非常勤医師
	眼科	—	非常勤医師 (完全予約制)	非常勤医師 (完全予約制)	—
産婦人科	※片淵美和子 (午後)	※片淵美和子 (午後)	—	非常勤医師 *片淵美和子(午後)	非常勤医師
緩和ケア内科(予約制)	織田 枝里	堀 和樹	織田 枝里	堀 和樹	—
総合診療科	吉岡 明子	—	吉岡 明子	—	吉岡 明子
救急外来	外科医(午前) 整形外科医(午後)	吉岡 明子	大庭 圭介(午前) 清水 博(午後)	吉岡 明子 / 消化器内科医	外科医(午前) 担当医(午後)
健診	高木 茂	高木 茂	高木 茂	高木 茂	高木 茂

◎診療時間は8:30開始で11:00(小児科は16:00)受付終了となります。  
 当日の受診に関する相談を除く電話は、14時から17時が受付となります。  
 ※ 非常勤医師です。 \* 第2、第4のみ診療となります。

# 特殊・専門外来

11月

名称	担当医等	実施日	診察場所
外来化学療法(予約制)	担当医	毎週 火曜・水曜	各診療科
	宮本 英明	毎週 金曜(がん薬物療法専門医)	
禁煙外来(予約制)	坂田 和子	毎週 月曜(午後)	Aブロック
睡眠時無呼吸外来	坂田 和子	毎週 火曜・木曜(午後)	
小児科予防接種	※石井 真美	毎週 水曜(受付時間13:30~15:30)	
ストーマ外来	担当医	毎月 第3水曜(午後)	Bブロック
女性外来(婦人科、思春期、更年期)	※片淵美和子	11/6月、7月、9月、13月、14月、20月、21月、27月、28月、30月	
P E G 外来	担当医	毎月 第2水曜(午後)	
両親学級(予約制:産婦人科)	助産師	第2・第4木曜日(13:30~15:30) ※産婦人科へお尋ねください。	5階病棟
セカンドオピニオン外来(予約制)	各専門医が担当します。詳細はホームページをご覧ください。 予約については地域医療連携室にお尋ねください。		

◎特殊・専門外来については、各診療科にお尋ねください。  
 ◎急患の場合は、この限りではありません。  
 ⚠注意:学会等の都合で変更になる場合があります。  
 ◆最新の担当表は、ホームページをご覧ください。

山鹿市民医療センター

〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地  
 TEL(代表)0968-44-2185 FAX 0968-44-2420  
<http://yamaga-medical-center.jp>